

## りょうCaféのご案内

### りょうCafé Zoom (オンライン)

- 5月28日(金) 20時～22時
- 6月25日(金) 20時～22時

その月の船橋市のニュース、議会や市役所内でのトピックを振り返り、その後、参加者の皆さんとぎっくばらんに船橋市政に関して意見交換を行います。意見交換したいテーマなどについて事前にお知らせいただければ、その材料を準備しておきますのでご一報ください。オンラインで夜の開催ですので、ご飯を食べながらでも、お酒を飲みながらでも、自由なスタイルでお気軽にご参加ください。たまには政治のことをしゃべらナイト!お待ちしております。

\*ミーティングID等は、事前に公式ホームページやSNS等でご連絡します。

\*日時等の変更の可能性があるので、石川りょう公式サイト、SNS等でご確認ください。



## プロフィール

### 【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

### 【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(健康福祉委員長)

### 【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT) 257点(TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学校平成26年度ボランティア入門学科



▲最後の健康福祉委員長報告

## 連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト  
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者: 石川亮  
住所: 船橋市芝山3-26-1  
携帯電話: 080-6575-4711  
固定電話: 047-463-2690  
メール: info@ishikawaryo.net

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ で検索! または、QRコードはこちら



船橋市議会議員 無所属

# 石川りょう通信

Vol.36 討議資料

## 4年間の任期の折り返しを迎えました。

令和元年5月からスタートさせた船橋市議会議員4年の任期(2期目)ですが、令和3年5月に2年間の折り返しを迎えました。振り返ると、やはり、新型コロナウイルス感染症に翻弄された2年間だったと思います。議会活動は、一般質問が短縮され、他市への視察もままなりませんでした。議員活動も、駅頭活動を控えたり、市民の皆さんとの意見交換会(りょうCafé)を対面で行えなくなるなど、様々な活動に支障をきたしました。

しかし、その反面で進化もありました。駅頭ができなくなった期間中に、ブログやツイッターなどのSNSでの発信を強化したところ、インターネットを通じた多くのご意見をいただけるようになりました。対面での意見交換会ができなくなった期間中に、オンラインで実施したところ、どこからでも気軽に参加できるということで、対面時よりも多くのご参加をいただけるようになりました。アナログだと思われていた政治の世界にもデジタルという新しい可能性が広がったことを喜ばしいこととして実感しています。

議会活動では、健康福祉委員長を務めコロナ禍で困窮している市内介護事業所

の方々との意見交換を重ねて、必要な支援を具体的に市に提言して引き出すなどの実績を残しました。広報委員会では副委員長を務め、小中高校生による議会見学会と意見交換会のオンラインによる開催を実現しました。また、船橋市議会史上初となる市民アンケート調査を提案して実施し、市民の皆さんから議会に対する様々なご意見をいただきました。定例会では必ず質問に立ち、本市の将来財政や行財政改革、海老川上流地区のまちづくり、そして、教育などのテーマを中心に、市長や副市長たちと議論を重ねました。

5月以降は、また新しい委員会に所属するなど環境が変わります。これまで以上の情熱をもって、残り半分の任期も全力疾走いたします!

▼健康福祉委員長を務める



▲小中高校生オンライン議会見学会の様子

## 中核市である船橋市が独自に設置する児童相談所

船橋市が設置する児童相談所(児相)の構想が具体的に進み始めます。5月の1ヶ月間をかけて市民の皆さんにご意見をお聞きするパブリックコメントが実施されます。児相の設置主体は基本的には県と政令市ですが、平成16年から中核市も設置できることになりました。船橋市を管轄している千葉県市川児相は、市川・浦安・鎌ヶ谷市も含め約142万人を抱える大所帯であり、相談件数の4割は船橋市からとなっています。そして、児童虐待に関する相談は年々右肩上がりとなっています。このような状況を踏まえ、船橋市の子どもは船橋市が守るという信念の下、県から独立した市児相(一時保護所も併設)を設置する構想が生まれました。この考え方は私も支持します。しかし、現在の船橋市の厳しい財政状況では、何かを実施するなら、何かを削らなければなりません。児相の設置費用は16億円以上かかり、運営費も毎年16億円以上かかると見積もられています。折しも、千葉県は今年10月を目途に、51人体制の県児相支所を船橋に設置すると発表しています(一時保護所は無い)。これらの点も注視していかなければなりません。



## 小学校で体操服の下に肌着を着ることを禁止しません。

日本テレビの情報番組(スッキリ)で、船橋市内の小学校の中には、体操着の下に肌着を着ることを禁じている学校があると報道されました。児童の気持ちを考えた場合、あり得ない指導だと思います。その直後から、私のもとには保護者の方々からたくさんの情報提供がありました。

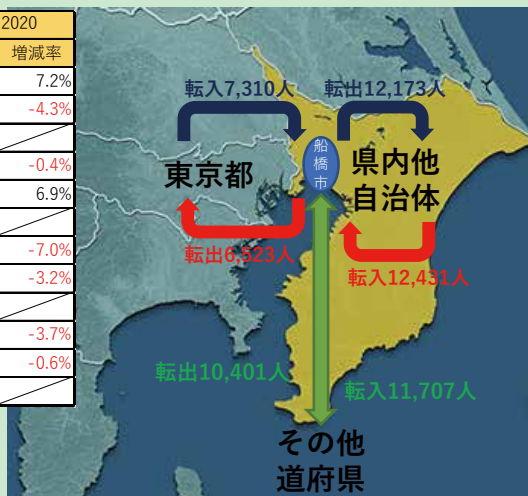
私から問い合わせたところ、船橋市教育委員会の動きは早く、市内全ての小学校に調査が行われました。その結果、各校からは「そのような指導はしていない」という回答があったとのことでした。しかし、私のもとには、かなり具体的な学校名や学年などの情報が寄せられていたので、一部の学校や教師の中には、児童や保護者に誤解を与えてしまうような言い回しや指導をしていた例があるのだろうと思っています。

しかし、私は犯人捜しをするつもりはありません。大切なのは今後です。教育委員会は全ての小学校に事務連絡を发出了しました。「体育の学習時に肌着を脱がせて直に体操服を着させるという指導ではなく、タオルで拭き取る、替えの肌着を持参させ替えさせるなどの対応をお願いします」という内容です。つまり、船橋市の小学校においては、体操服の下に肌着を着ることを禁止することは決してありません。



## コロナ禍、そして、コロナ後の船橋市の人口動態はどうなるのか？

船橋市転出入		2017	2018	2019	2020	2019-2020	
						増減数	増減率
東京都	転入	6,752	6,864	6,821	7,310	489	7.2%
	転出	6,872	7,033	6,813	6,523	-290	-4.3%
	社会増減	-120	-169	8	787	779	
千葉県内 他自治体	転入	12,122	12,126	12,481	12,431	-50	-0.4%
	転出	11,338	11,482	11,383	12,173	790	6.9%
	社会増減	784	644	1,098	258	-840	
その他 道府県	転入	12,619	12,632	12,582	11,707	-875	-7.0%
	転出	10,483	10,221	10,745	10,401	-344	-3.2%
	社会増減	2,136	2,411	1,837	1,306	-531	
全体	転入	35,286	35,305	35,482	34,180	-1,302	-3.7%
	転出	30,667	30,947	31,381	31,201	-180	-0.6%
	社会増減	4,619	4,358	4,101	2,979	-1,122	



### ▼ 2020年に東京23区からの転出者が増えた自治体

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
藤沢市	三鷹市	横浜市中区	小金井市	川崎市宮前区	川崎市高津区	船橋市	鎌倉市	つくば市	横浜市港北区
713人	667人	630人	555人	554人	430人	419人	417人	409人	399人

東京都から船橋市への人口流入が増えています。コロナ禍の2020年に都内から本市に転入してきた人口は7,310人。逆に、本市から都内に転出した人口は6,523人でした。昨年の東京23区からの転出先を見ると、船橋市は、藤沢市、横浜市、そして、川崎市などに次いで7番目に多い自治体となっています。千葉県内では1番です。例年は、船橋市から都内に転出する人の方が多いため、これは新しい動態かもしれません。他方で、東京を除く他の自治体から船橋市に転入する人数は減っており、転出する人は少し多くなっています(特に千葉県内の他自治体へ)。

ここから言えることは、都内に住んでいる人は、船橋市や藤沢市など近隣の郊外に転出し、船橋市などの都内近隣に住んでいる人は、さらにもう少し郊外に転出する傾向になっているということです。この要因には、コロナ禍での密の回避やテレワークの普及などがあると思います。しかし、この傾向はコロナ後も続くのでしょうか?遅れているとはいえ、今年度中にはワクチンの接種が国中に行き渡ると思います。コロナが収束した後も人々は郊外で生活するようになるのか、それとも、再び東京一極集中に回帰するのか。船橋市の立ち位置はどうなるのか。昨年も含めて、本市の人口動態をしっかりと注視してその傾向を掴み、最適の政策を考えていけるようにしたいと思います。